



▼卒業式（3月1日）

遠藤秀明教育長を来賓に招き、第43回卒業式を行いました。新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、保護者と教職員のほかに今年度は在校生代表として生徒会が参列し、卒業生11人が清水美由紀校長から一人ずつ卒業証書を受け取りました。



▼高校入試（3月3日～4日）

今年の冬は全道的に積雪が多く、町内でも多くの雪が残り足下が悪く、3日に学力検査、4日は面接検査を実施しました。

▼1年生進路ガイダンス（3月10日）

胆振教育局キャリアプランニングスーパーバイザーの伊藤秀範さんが講師として来校され、1年生24人を

対象に実施しました。進学・就職に向けての心構え、進路実現に臨む姿勢や態度等について、ガイダンスを受講し意識を高めることができました。

▼専門学校出前授業（3月11日）

進路実現に向け、専門的な体験授業を通じて自己理解を深める目的で実施。①住宅模型の制作体験（札幌科学技術専門学校）②ゲームプログラミング体験（北海道情報専門学校）③調理実習と職業説明（光塩学園調理専門学校）④美容師の仕事体験（札幌ベルエポック美容専門学校）⑤グラフィックデザイン体験（札幌デザイナー学院）⑥ペットシヨップスタッフ体験（経専北海道どうぶつ専門学校）⑦サービスマナー業界体験（札幌ブライダルアンドホテル観光専門学校）⑧精密機械体験（苫小牧高等技術専門学校）。8コースから1・2年生が希望する授業を本校の各教室で受講し、それぞれ専門的で充実した体験ができました。今後の進路活動のきっかけになることを期待します。

▼令和3年度進路実績

（就職先）(株)小金澤組、第一金属(株)、(株)フジトランスライナー、苫小牧営業所、(株)三星、(株)ダイナックス、社会医療法人平成醫塾
 （進学先）札幌ブライダルアンドホテル観光専門学校、苫小牧高等技術専門学校、専門学校札幌ビジュアルアート、北海道情報専門学校



4月から公営塾が「よりみち学舎」という名前で本格的に稼働しました。地域おこし協力隊教育の魅力化支援員3人が、厚高生に寄り添い主体性を伸ばすための気づきの場を提供します。今月から始まったこのコーナーでは、よりみち学舎の様子や旬の話題を紹介していきます。（教育魅力化支援員 加藤千昇）

よりみち通信



はじめまして！
よりみち学舎です

よりみち学舎は、厚高生はもちろん、町民も気軽に立ち寄れる場所づくりを目指しています。勉強だけではなく、町民との交流や対話などを通じて多様な価値観を見出していきます。

一見、遠回りに見える寄り道のなかには、それまで知ることのなかった景色や人とつながることがあります。“直接かかわること”で新たな自分が見えてくる。そんな気づきの場が、よりみち学舎です。厚高生が、自分自身の生き方を自発的に考えるきっかけを作ります。

重視しているのは、生徒との会話です。例えば、3年生から「大学は、どんな雰囲気なの？」と聞かれました。私たちは、受験勉強に加え、大学生活をより身近に感じたいという気持ちをくみ取りました。大学への見学会も行い、生徒の意欲をかきたてました。このように公営塾は、生徒一人ひとりと向き合いながら、主体性を養うお手伝いをします。

人を介して町全体が「母校」と思ってもらえるように、温かい寄り道の場を町民の皆さんと一緒に作っていきたくと考えています。

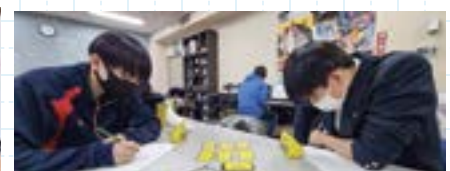
「よりみち学舎」は
厚真高校と地域が連携しながら
放課後を利用して
生徒が自ら目標を発見し
挑戦する公営塾です。



オンラインでの学習環境も今後、整えていきます



楽器やけん玉、スタッフの好きな本が並びよりみち学舎



ボードゲームを楽しみながらコミュニケーションを深めます